

名大の時間

「名寄での一年を振り返って」

1年が経ちました。

私は福祉を基盤とした特別支援学校の教諭になるために、この大学への進学を決めました。初めての一人暮らしを名寄市で経験し、想像よりも生活がしやすいと感じました。

名寄市に移住する前は、人口がここよりも多く娯楽施設が充実している街に住んでいました。そのため、進学後の生活

は、以前より不便であると思像してしま

した。ですが、名寄市はスーパーやコンビニエンスストア、飲食店が大学の近くに充実しています。

その上誘惑も少なく静かで勉強に集中しやすいため便利でコンパクトな街だと実感しています。また、イオンモールやその周辺でのショッピングやアルバイトにおいて無料バスが

運行されているところも学生に良い点だと考えます。

加えて、子ども食堂サークルの今年初のイベントが2月11日に開催されまし

た。私は子ども食堂サークルに所属し、食堂活動はまだ実施できませんが、地域との子どもとのふれあい活動ができるということに参加しました。主に小学1年生の子どもの担当

として、学習の助言、カードゲームやバルーンアート、ボッチャなどの勉強と遊びを一緒に行いました。教員を目指している私にとってこのイベントは、将来のイメージができた良い機会となりました。

印象に残ったこととしてバルーンアートで細長い風船を作った際に、子どもたちが剣や犬などの形を作らずにそのまま飛ばして遊んでいた様子が見られました。これはこう遊ぶ



え方の柔軟性を感ずることができました。自分の固定観念や対応の仕方を改めて振り返ることができました。

大学2年生に進級し、名寄市や大学生として慣れていくことと思えます。更に地域との繋がりを大切に、名寄での大学生活を充実させていきたいと思いました。

社会福祉学科2年

田中結女

期待を胸に名寄市立大学に入学して約